

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【公開番号】特開2006-290975(P2006-290975A)

【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2006-042

【出願番号】特願2005-111606(P2005-111606)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/10 (2006.01)

B 4 1 M 3/14 (2006.01)

B 4 2 D 15/10 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/10

B 4 1 M 3/14

B 4 2 D 15/10 5 0 1 D

B 4 2 D 15/10 5 0 1 P

B 4 2 D 15/10 5 3 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月10日(2007.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

無色または淡色の電子供与性染料前駆体及びワニスを主たる成分として含有する染料前駆体インキベース(a)、

電子受容性化合物及びワニスを主たる成分として含有する電子受容性化合物インキベース(b)

を別個に作製したものをドライヤーと混合して得たものであることを特徴とする熱発色インキ。

【請求項2】

無色または淡色の電子供与性染料前駆体及びワニスを主たる成分として含有する染料前駆体インキベース(a)、

電子受容性化合物及びワニスを主たる成分として含有する電子受容性化合物インキベース(b)、

融点60以上250以下の熱可融化合物及びワニスを主たる成分として含有する熱可融化合物インキベース(c)

を別個に作製したものをドライヤーと混合して得たものであることを特徴とする熱発色インキ。

【請求項3】

無色または淡色の電子供与性染料前駆体、融点60以上250以下の熱可融化合物及びワニスを主たる成分として含有する染料前駆体インキベース(a)、

電子受容性化合物及びワニスを主たる成分として含有する電子受容性化合物インキベース(b)

を別個に作製したものをドライヤーと混合して得たものであることを特徴とする熱発色インキ。

【請求項4】

無色または淡色の電子供与性染料前駆体及びワニスを主たる成分として含有する染料前駆体インキベース(a)、

電子受容性化合物、融点60以上250以下の熱可融化合物及びワニスを主たる成分として含有する電子受容性化合物インキベース(b)

を別個に作製したものをドライヤーと混合して得たものであることを特徴とする熱発色インキ。

【請求項5】

無色または淡色の電子供与性染料前駆体、融点60以上250以下の熱可融化合物及びワニスを主たる成分として含有する染料前駆体インキベース(a)、

電子受容性化合物、融点60以上250以下の熱可融化合物及びワニスを主たる成分として含有する電子受容性化合物インキベース(b)

を別個に作製したものをドライヤーと混合して得たものであることを特徴とする熱発色インキ。

【請求項6】

電子供与性染料前駆体と電子受容性化合物の含有質量比が1：1～1：3であることを特徴とする請求項1～5の何れかに記載の熱発色インキ。

【請求項7】

電子供与性染料前駆体がキサンテン系化合物、電子受容性化合物がジフェニルスルホン系化合物である請求項1～6の何れかに記載の熱発色インキ。

【請求項8】

支持体上に、情報を印刷した情報印刷部を設けた不可視情報印刷シートにおいて、請求項1～7の何れかに記載の熱発色インキを用いて情報印刷部を設け、かつ、該情報印刷部の電子供与性染料前駆体含有量が、0.003g/m²以上、0.300g/m²以下である事を特徴とする不可視情報印刷シート。

【請求項9】

不可視情報がオフセット印刷により印刷されたことを特徴とする請求項8記載の不可視情報印刷シート。

【請求項10】

無色または淡色の電子供与性染料前駆体及びワニスを主たる成分として含有する熱発色インキ用染料前駆体インキベース。

【請求項11】

電子受容性化合物及びワニスを主たる成分として含有する熱発色インキ用電子受容性化合物インキベース。

【請求項12】

融点60以上250以下の熱可融化合物及びワニスを主たる成分として含有する熱可融化合物インキベース。